

山江村復興計画【概要版】



令和2年7月豪雨では、土砂災害や河川の氾濫による浸水被害、山腹崩壊などが発生し、人的被害はなかったものの、住家や道路、水道施設など生活基盤や基幹産業である農林業や地場産業などに甚大な被害を受けました。

災害から一日も早い復旧・復興を図るためには、今回の災害と過去の災害からの教訓や課題を把握し、将来へのむらづくりの認識を共有したうえで、行政だけではなく地域住民や関係団体等が一体となって取り組む必要があるため、復興に向けた基本的な考え方や今後取り組むべき施策を示すものとして、山江村復興計画を策定しました。

基本理念

鎮山親水（ちんさんしんすい）

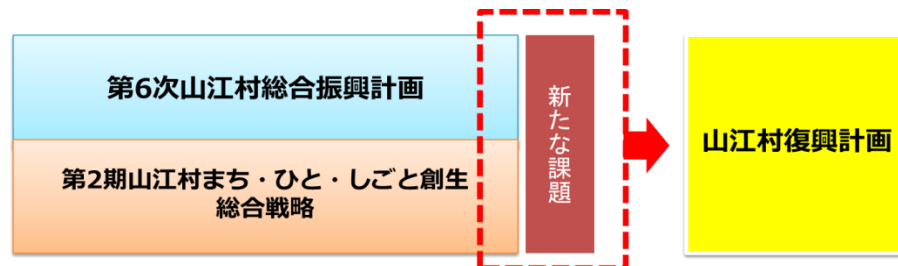
自然との共生意識や畏敬の念を持ち、自然と親しむと同時に怖さを知り、自然との関わり方を見直す。人と自然の調和。

基本方針

- (1) 生活インフラ・住まいの再興
- (2) 道路・河川・農地・森林の強靱化
- (3) より安全な暮らし・持続可能な山江村の次世代への継承

計画の位置付け

復興計画は、村が目指す将来像『ひと×資源×暮らし つながる 活力・魅力生まれる山江村』や取り組む内容を示した「第6次山江村総合振興計画」、「第2期山江村まち・ひと・しごと総合戦略」とも整合性を図りながら、今回の災害により新たに発生した課題や見直すべき課題を踏まえ、災害からの単なる復興ではなく、持続可能なむらづくりの実現を目指します。



計画期間

令和3年度から令和12年度まで

行政が主体となった取り組み 【復旧期：R3～R5年度】

- 道路・橋梁・河川・上下水道などの災害復旧
- 村営住宅「城内団地」の復旧
- 農地・農業用施設の復旧
- 営農、事業の再開・継続に向けた支援
- 被災者への生活支援 など

住民参加による取り組み 【復興期：R3年度～】

山江村を次世代へ継承するため、復興に向けた6つのプロジェクトに取り組みます。

山江の森（守）人育成プロジェクト

山江の森・水管理推進プロジェクト

いざという時のプロジェクト

災害にあわない家づくりプロジェクト

村内の上下流交流プロジェクト

海幸・山幸交流プロジェクト

山を活かす村

イエを活かす村

江を活かす村

『未来へみんなでつながる自己治癒力の高いむらづくり』

- ・公有林などを活用した森林環境教育の実施
- ・伝統的石積み石工等養成講座の開設
- ・担い手育成を目的とした林業大学校等への奨学支援制度の導入 など

山を活かす 山江の森維持管理 システムの確立

- ・国や県の制度、森林環境譲与税等を活用した民有林の森林整備
- ・山江村森林整備計画等に基づく森林の適正管理及びスマート林業の実践
- ・川に親しむ親水公園等の整備
- ・既存の作業道等を活用したトレッキングや遊歩道などのコース整備 など

山江の 森守人育成 プロジェクト

公有林や放置林などを森林環境教育の場として活用し、子どもの頃から山の楽しさを知り、山を守る人材の育成に取り組みます。

山江の 森水管理推進 プロジェクト

森林や水辺の整備に取り組み、自然に親しむ環境づくりに取り組みます。

- ・既存の公園などへの防災機能等の整備
- ・マイタイムラインなどを活用した防災教育の実施
- ・家庭や避難所等の食料や飲料水などの災害用備蓄や非常用電源の確保と整備
- ・高齢者などの災害弱者への支援体制の強化
- ・防災行政無線を活用した情報伝達訓練の実施
- ・地域防災計画、防災マップの見直し など

いざという時の プロジェクト

避難所や緊急避難場所を整備し、一人ひとりの防災意識の向上を図り、災害時も安心安全に避難できる環境づくりに取り組みます。

『未来へ みんなでつなぐ
自己治癒力の高い むらづくり』
を目指して

— 住民とともに取り組む —
6つのプロジェクト

- ・流域の立体地形模型作成や万江川などを活用した河川環境教育の実施
- ・非常時は避難路として活用できる輸送ルートの確保
- ・SNS等を活用した住民と行政をつなぐ地域情報ネットワークの構築
- ・上下流が連携した森林資源の有効利用
- ・学校給食などを活用した農林産物の地産地消の推進 など

村内の 上下流交流 プロジェクト

村の豊かな資源を活用し、村内における「人」や「物」の流れをつくり、地域振興に取り組みます。

- ・七夕飾りなどを活用した令和2年7月豪雨の浸水水位の表示
- ・平時は交流施設やサテライトオフィスなどに活用でき、非常時には避難場所となる空き家等の調査及び整備
- ・安全な住まい確保のための空き家改修・個別住宅支援制度の拡充
- ・避難所等へ活用する住宅や居住者に対する減税制度などの検討 など

災害に あわない 家づくり プロジェクト

災害が起こりやすい場所でも家や避難所など建て方や暮らし方を工夫し、災害に備えた住環境づくりの推進に取り組みます。

海幸・山幸 交流 プロジェクト

流域における「人」や「物」の交流を通じて、産業振興や関係人口の創出などに取り組みます。

江を活かす 山幸海幸交流推進 システムの確立

伊工を活かす 災害時緊急避難 システムの確立